

平成24年9月27日

組合議会視察研修報告書

那覇市・南風原町環境施設組合議会

議長 與儀 實司

日時：平成24年8月20日（月）～22日（水）3日間

場所：1. パンパシフィック・カップ（株）佐賀製錬所
2. 九州エコタウン事業（ジェイ・リライツ等）
3. 北九州市・環境ミュージアム
4. 大阪湾フェニックスセンター（泉大津沖処分場）

参加者：組合議会議員8人、組合職員2人の計10人

（別紙参加者名簿参照）

目的：那覇市・南風原町環境施設組合議会の視察については、焼却施設及び環境関連施設を視察及び研究することで、知識を高め、那覇・南風原クリーンセンター（以下「クリーンセンター」という。）の良好な維持管理・運営に関して共通認識を持つことを目的とする。

1. パンパシフィック・カップ（株）佐賀製錬所

（1）施設について

- ・ 広大な敷地に大形設備を完備しており、主に銅を生産している。副産物として、硫酸や貴金属として金も生産している。
- ・ 半島を一望できる高台の展望台まで車で移動し、周辺状況を確認できた。その中で旧煙突が印象的な眺めであったが、かなり老朽化していることから、近々取り壊すとのこと。
- ・ 溶解炉があることから、ある程度の発電はできるが、外部に売却するほどの電気はないとのこと。

（2）総評

- ・ 組合が搬出しているメタルは、「那覇メタル」と固有名詞がつけられていた。
- ・ 「那覇メタル」は、質としては「良いモノ」ではない（ここでいう「良いモノ」とは、レアメタルや金などの希少価値が高い貴金属が多く含まれているものを指す。）が、今後とも、継続して供給していただければと思っているとの話があり、当組合のメタルの需要と価値があることが窺えた。
- ・ 実際にメタルが再資源化されている現場を確認できたことは、今後、メタルが売却された後のリサイクル課程が理解できる。

2. 九州エコタウン事業（ジェイ・リライツ等）

（1）施設について

- ・ ジェイ・リライツ、コカ・コーラー自動販売機リサイクル工場を視察した。
- ・ ジェイ・リライツでは、蛍光管の形状毎に処理機が設置され、自動ラインで各リサイクル原料に分類されていた。

- ・ 工場の一部では廃電池の処理が行われており、リサイクル対象外であるボタン電池や二次電池などは手作業で分別されていた。
- ・ コカ・コーラー自動販売機リサイクル工業では、自動販売機の分解は、ほとんどが手作業で行われており、その作業手順を見ると分解しやすいように作られていることもわかった。また、敷地内には、処理前の自販機が整然と並べられ、建屋内ではフォークリフトが所狭しと動いていた。行程の最後には、スクラップする機械で1台ずつ圧縮処理されていた。

(2) 総評

- ・ ジェイ・リライツでは、平成22年度まで当組合からの廃蛍光管を受託していたこともあり、蛍光管のリサイクル・システムの状況と、現在、委託している廃乾電池の処理現場を見ることができたことにより、分別の必要性と、きちんと資源化されていることが確認できた。

3. 北九州市・環境ミュージアム

(1) 施設について

- ・ オープンから10周年になるが、今年度初めに一部リニューアルしており、設備や調度品の古さは感じられなかった。
- ・ 随所に、見せる工夫がされており、手作り感のあるコーナーも設置していて、好印象であった。

(2) 総評

- ・ 北九州は過去に大きな公害問題があり、その歴史を踏まえた上で環境の取り組みを現在・未来についての細かい説明がなされ、つながりを意識させる作りとなっていた。環境について学ぶことができる施設である。

4. 大阪湾フェニックスセンター（泉大津沖処分場）

(1) 施設について

- ・ 大阪湾に面する近畿地域自治体の港湾機能の整備拡充を図る必要性から埋立地による新たな用地の確保が要求されていた。その整備のために設立された「大阪湾広域臨海環境整備センター」によって、4つの埋立処分場が整備されており、その一つである泉大津沖処分場を視察した。
- ・ 陸地に近いところで、すでに埋め立てられている部分においては舗装整備され、視察した日には一般に開放されていた。広大な敷地では、野外コンサートも開催されているとのことである。

(2) 総評

- ・ 当該処分場は総面積が203haで、那覇エコアイランドが2.7haであることから、規模では比較対象とはならないが、同じ海面処分処理形態は類似している処分場としては、ある程度の検証はできた。

5. 全体総評

今回は、組合から県外へ処理委託されているメタルや廃電池の処理現場を視察できたことで、ごみがきちんと再資源化できていることを確認できた。また、現場を見て初めて気づく点多々あり、見学施設調度品の設置方法やその案内する接客技術面も参考となった。これらを踏まえて、今後の議会活動の取組みに活かしていきたい旨申し上げ、視察の報告とする。

平成24年8月20日（月）出発式



8月20日（視察1日目、パンパシフィック・カッパー（株）佐賀関製錬所）入り口にて



事務所内での説明（その後、敷地内を見学）



8月21日（視察2日目、北九州エコタウン施設内にて）



施設内での説明



エコタウン内のジェイ・リライツ前にて



充電地類を除去（手処理にて分別していた）



リサイクルしたマンガン(アンモニア臭があった)



エコタウン内のコカ・コーラー自動販売機リサイクル工場にて



工場内にて処理状況



2日目の午後、環境ミュージアム前にて



環境ミュージアム内にて説明





3日目（大阪湾フェニックスセンターでの水処理施設前にて）



水処理施設の展望台にて



水処理施設の展望台より、貯水池を見る（那覇エコアイランドより広い）



関西国際空港にて解散式

